

ProSPER.Net

(アジア太平洋環境大学院ネットワーク)

目次

1. ProSPER.Netの概要

2. 教材/カリキュラム開発

- 1) アジアの都市環境におけるリサイクルプラスチック
- 2) 気候変動により脅かされる小島嶼開発国コミュニティの移住
- 3) アジアにおける仙台防災枠組みおよびSDGsの防災教育への導入

3. 参考資料

- ProSPER.Net 共同研究プロジェクト一覧
- ProSPER.Net 報告書（2015–2021年）
- 国内加盟大学一覧



ProSPER.Net (アジア太平洋環境大学院ネットワーク)

1. 概要

- **持続可能な開発に関する優れた教育や研究**を実施し、大学院のコースやカリキュラムに持続可能な開発の概念を取り入れているアジア・太平洋地域の主要な高等教育機関のネットワーク。
(2008年設立、事務局UNU-IAS)
- **55大学** (うち**国内18大学**) が加盟。(2023年3月末現在)
- **共同研究や教材・カリキュラム開発、能力開発プログラムの実施、政策提言**などを行なっている。

2. 教材/カリキュラム開発

2015年以降**13件**の共同研究事業が実施された (うち1件は実施中)。そのうち廃棄プラスチックや、気候変動への適応策としての移住計画や防災など**SDGs達成に向けた喫緊の課題**を取り上げ、**教材やカリキュラム開発**において顕著な成果をあげており、日本にも参考になる事業を**3件**紹介する。

- 1) **アジアの都市環境におけるプラスチックのリサイクル**
- 2) **気候変動により脅かされる小島嶼開発国コミュニティの移住**
- 3) **アジアにおける仙台防災枠組みおよびSDGsの統合に向けた防災教育**

教材/カリキュラム開発

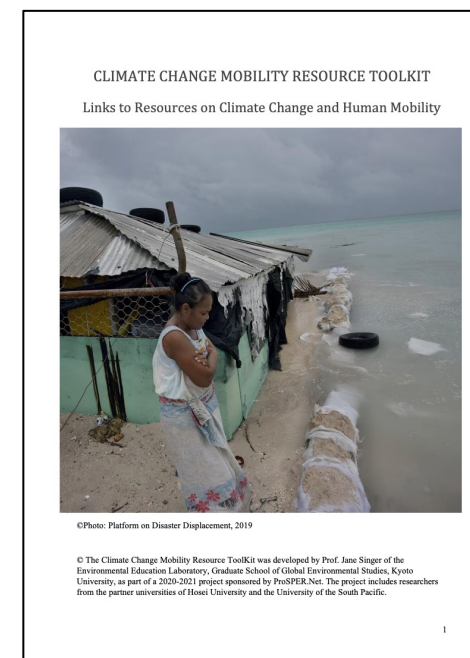
1) アジアの都市環境におけるプラスチックのリサイクル

- **目的：** 廃棄プラスチックの削減および再利用、リサイクルの促進に向けた調査、ケーススタディおよび教材の開発 [実施期間：2018年1月～2019年3月]
- **参加大学：** ロイアルメルボルン工科大学（オーストラリア）、テリー大学（インド）、ベトナム国家大学ホーチミン市校（ベトナム）
- **教材：**
 - マイクロ・プラスチックの環境への影響：マイクロ・プラスチックが及ぼす環境への影響を理解するための学習教材の開発（オーストラリア）
 - 環境リスクの分析とプラスチック汚染の緩和（ベトナム）
 - 環境の持続可能性：ケース・スタディ（インド）
- **ポリシーブリーフ（参考）：**
 - 「オーストラリアにおけるプラスチック汚染の緩和策に関する枠組み」
 - 「ベトナムにおけるプラスチック汚染：政策決定者はプラスチックごみ問題に対して何ができるのか」
 - 「都市における廃棄物管理のグローバルなインパクト」

教材/カリキュラム開発

2) 気候変動により脅かされる小島嶼開発途上国コミュニティの移住

- **目的**：気候変動の影響を受けやすい小島嶼開発途上国のコミュニティが、政府やNGOの支援により移住する際の課題や留意点を特定し、ポリシーブリーフや教材・カリキュラムを作成すること。[実施期間：2020年1月～2021年3月]
- **参加大学**：京都大学、法政大学、南太平洋大学（太平洋地域）
- **教材**：
 - ・ 初期調査として、[文献調査](#)を行なった他、大学の授業にて活用できる教材として気候変動と移住に関する[ツールキット](#)を作成した。
 - ・ 計画されていたフィジーにおけるフィールドワークを通じた共同研究はCOVID-19の影響を受け中止となったが、ツールキットには参考文献や関連サイト、オンラインコース、ビデオ・クリップ、アクティビティのアイデア等が掲載されており参加大学等で活用予定。



ツールキット

教材/カリキュラム開発

3) アジアにおける仙台防災枠組みおよびSDGsの統合に向けた防災教育

- **目的**：アジアにおける災害レジリエンスと教育ネットワークのフォローアップ事業として、災害リスクマネジメントや持続可能な開発に関する大学院コースのモデルカリキュラムを共同開発すること。[実施期間：2020年2月～2021年3月]
- **参加大学**：アジア工科大学院（タイ）、**慶応義塾大学**、**宮城教育大学**、**アンダラス大学**（インドネシア）、**ガジャマダ大学**（インドネシア）
- **カリキュラム**：
 - ・ 「**災害リスク管理と持続可能な開発**」に関する学際的な大学院用のモデルカリキュラムを開発し、[冊子](#)を作成。（4項目で各4つの授業案を提示：1. コンセプトと理論 2. イノベーション・ツールと技術 3. 管理と持続可能性 4. 横断的な分野と課題）
 - ・ 「**災害リスク管理、レジリエンスと持続可能性**」と題した学際的な大学院向けコースの簡易版（Certificateコース）をオンラインで実施し（2021年8月16日-26日）、カリキュラムの有効性を検証。アジア地域8カ国から修士・博士課程の学生33名が参加した。（詳細は[実施報告書](#)参照）



モデル・カリキュラム



Certificateコース
報告書

教材/カリキュラム開発

3) アジアにおける仙台防災枠組みおよびSDGsの統合に向けた防災教育

○ その他の成果（物）

- 「災害レジリエンスと持続可能な開発高等教育機関ネットワーク」を構築。
プロジェクト参加5大学（宮城教育大学、慶應大学含む）に加え、アジア太平洋地域の20を超える大学の専門家がメンバーとして参加している。
（東北大学、名古屋大学、岩手大学、京都大学を含む）
- 事例集「持続可能性のための災害リスク研究、科学とイノベーション」
アジア9カ国で実施されている優れた事例20件を紹介する事例集を作成。
防災計画や実践における政策決定者や研究者、実践者向けのハンドブックとして活用することができる。
- ポリシーブリーフ「[持続可能な道に向けて連鎖リスクに対応する教育システムのレジリエンス](#)」を作成。
- 「第2回災害レジリエンスと持続可能な開発に関する国際シンポジウム」
（2021年6月24、25日、ハイブリッド）で開催し、21機関から337名が参加した。（詳細は[会議報告書](#)、[要約版](#)参照）



事例集



会議報告書

[プロジェクトへの[リンク](#)]

ProSPER.Net 共同研究プロジェクト

2015年度以降、13件の共同研究を実施し、うち1件（No.13）は実施中である。
各事業の実施時期、テーマ、参加大学は下表のとおり。

No.	実施期間	テーマ及び参加大学
1	2014年11月～ 2015年12月	アジア太平洋地域の3カ国（中国、インド、タイ）における分散型エネルギー介入手法に関する調査 テリー大学高等研究科（インド）、アジア工科大学院（タイ）、同済大学（中国）
2	2014年8月～ 2015年6月	健康的な食への移行 ガジャマダ大学（インドネシア）、マレーシアサインズ大学（マレーシア）、プリンス・オブ・ソ ンクラー大学（タイ）、アジア工科大学院（タイ）
3	2015年6月～ 2016年6月	アジア太平洋の都市における気候と調和した発展 アジア工科大学院（タイ）、ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）、テリー大学（イン ド）、チュラロンコン大学（タイ）、プリンス・オブ・ソンクラー大学（タイ）、ガジャマダ大学（イ ンドネシア）
4	2018年1月～ 2019年3月	アジア太平洋地域における建築の環境カリキュラム：気候変動への対応 ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）、同済大学（中国）、ペラデニア大学（スリラン カ）、アジア工科大学院（タイ）、フィリピン大学ディリマン校（フィリピン）、ガジャマダ大学 （インドネシア）

ProSPER.Net 共同研究プロジェクト

No.	実施期間	テーマ及び参加大学
5	2018年1月～ 2019年3月	アジアの都市環境におけるリサイクルプラスチック ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）、テリー大学（インド）、ベトナム国家大学 ホーチミン市校（ベトナム）
6	2018年3月～ 2019年3月	アジアにおける災害レジリエンスと教育ネットワーク アジア工科大学院（タイ）、宮城教育大学（日本）、慶応義塾大学（日本）、マレーシア科学 大学（マレーシア）
7	2020年2月～ 2021年3月	アジアにおける仙台防災枠組みおよびSDGsの統合に向けた防災教育 アジア工科大学院（タイ）、慶応義塾大学（日本）、宮城教育大学（日本）、アンダラス大学 （インドネシア）、ガジャマダ大学（インドネシア）
8	2018年1月～ 2019年3月	地域におけるSDGsの実践のための枠組み構築 慶応義塾大学（日本）、テリー大学（インド）、フィリピン国立大学ディリマン校、チュラロ ンコン大学（タイ）
9	2020年3月～ 2021年3月	地域におけるSDGsの実践のための枠組み構築 – II チュラロンコン大学（タイ）、慶応義塾大学（日本）、テリー大学高等研究科（インド）、 フィリピン大学（フィリピン）、マレーシア科学大学（マレーシア）、ガジャマダ大学（イン ドネシア）
10	2020年3月～ 2021年3月	安全な避難場所：気候変動により脅かされる小島嶼開発途上国コミュニティの移住 京都大学（日本）、法政大学（日本）、南太平洋大学（太平洋地域）

ProSPER.Net 共同研究プロジェクト

No.	実施期間	テーマ及び参加大学
11	2021年3月～ 2022年3月	バリとジョグジャカルタの観光地における分子的及び社会的な視点から見たカニクイザルの保護と動物由来感染症の可能性におけるワン・ヘルス・アプローチ ガジャマダ大学（インドネシア）、北海道大学（日本）、マヒドン大学（タイ）
12	2021年3月～ 2022年3月	南アジアにおける汚染が熱帯林及び温帯林に与える影響：インドとスリランカの修士学生の初期調査 テリー大学高等研究科（インド）ペラデニア大学（スリランカ）、スリジャヤワルダナプラ大学（スリランカ）
13	2022年3月～ 2023年4月 (実施中)	持続可能な建築環境のための循環型経済の導入 ロイアルメルボルン工科大学（オーストラリア）、ペラデニア大学（スリランカ）、テリー大学高等研究科（インド）、アジア工科大学院（タイ）、キルギス国立アラバエフ大学



報告書「ProSPER.Net：持続可能な開発目標 (SDGs)のための高等教育の推進2015-2021」

ProSPER.Netの概要、2015年から2021年の7年間に実施された共同研究、教材・カリキュラム開発、能力開発プログラム、政策提言等に関する事業等および今後に向けた方向性を紹介している。

＜主な事業＞

- 共同研究・カリキュラム開発（12事業）
- 若手研究者スクール（5事業）
- リーダーシップ・プログラム（6事業）
- 高等教育における持続可能性に関するフォーラム（9事業）

加盟大学数：55

（2023年3月現在）

うち国内18大学

中部大学、北海道大学、法政大学、
岩手大学、慶應義塾大学、
京都大学、九州大学、
宮城教育大学、名古屋大学、
岡山大学、立教大学、信州大学、
上智大学、東北大学、東京大学、
横浜国立大学、富山大学、東京農工大学

ProSPER.Netウェブサイト

<https://prospernet.ias.unu.edu/>

お問合せ

ProSPERNet@unu.edu